

2013年3月期  
第2四半期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2012年11月9日

# 2012年度 上期業績 (連結)



Power Electronics for Next "E" Stage

(単位: 億円)

	11年度	12年度		前年比(%)	公表値	達成率(%)	
	上期	1Q	2Q				上期
売上高	661	300	324	624	-5.6	695	89.8
デバイス	483	228	245	473	-2.1	512	92.4
CCFL	10	3	3	6	-40.0	7	85.7
PM	98	42	41	83	-15.3	100	83.0
PS	71	27	34	61	-14.1	76	80.3
営業利益	13	4	15	19	46.2	22	86.4
経常利益	4	-0	12	12	+200.0	14	85.7
当期純利益	-13	-4	8	4	-	3	133.3

# 2012年度 通期業績 予想

(億円)

	11年度 実績			12年度 (予想)			通期前同比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	661	657	1,318	624	686	1,310	-8	-0.6
デバイス	483	470	953	473	517	990	37	3.9
CCFL	10	9	20	6	6	12	-8	-40.0
PM	98	82	180	83	72	155	-25	-13.9
PS	71	95	165	61	92	153	-12	-7.3
営業利益	13	27	40	19	41	60	20	50.0
経常利益	4	26	30	12	33	45	15	50.0
当期純利益	-13	17	4	4	21	25	21	525.0

・為替の前提: 78円/US\$

# 業績予想修正

	5月公表	今回公表値			修正幅	
	通期	上期	下期	通期	額	率 (%)
<b>売上高</b>	<b>1,450</b>	<b>624</b>	<b>686</b>	<b>1,310</b>	<b>-140</b>	<b>-9.7</b>
デバイス	1,060	473	517	990	-70	-6.6
CCFL	13	6	6	12	-1	-7.7
PM	200	83	72	155	-45	-22.5
PS	177	61	92	153	-24	-13.6
<b>営業利益</b>	<b>74</b>	<b>19</b>	<b>41</b>	<b>60</b>	<b>-14</b>	<b>-18.9</b>
<b>経常利益</b>	<b>58</b>	<b>12</b>	<b>33</b>	<b>45</b>	<b>-13</b>	<b>-22.4</b>
<b>当期純利益</b>	<b>32</b>	<b>4</b>	<b>21</b>	<b>25</b>	<b>-7</b>	<b>-21.9</b>

(億円)

- 【予想の前提】 為替相場 : 78円/US\$
- 【主な修正理由】 欧州経済の停滞継続、新興国経済の成長鈍化
- ・デバイス : AV、OAの低迷、中国エアコンINV化の遅れ
  - ・PM : 日系TVの終息、OAの低迷
  - ・PS : 電力・官公需の停滞

# 2012年度 下期 基本戦略は変えない



Power Electronics for Next "E" Stage

## 基本方針

「売上規模拡大」

「グローバル化」

## ターゲット市場

「エコ・省エネ」、「グリーンエネルギー」

車載、白物、産機、IT・モバイル、LED照明、パソコン、センサー

「新興国」

韓国・中華圏 への深耕

「汎用・標準品」

パワーデバイス、AC/DC、DC/DC

## 重点施策

市場シフト : 「AV⇒省エネ」、「カスタム⇒汎用・標準」

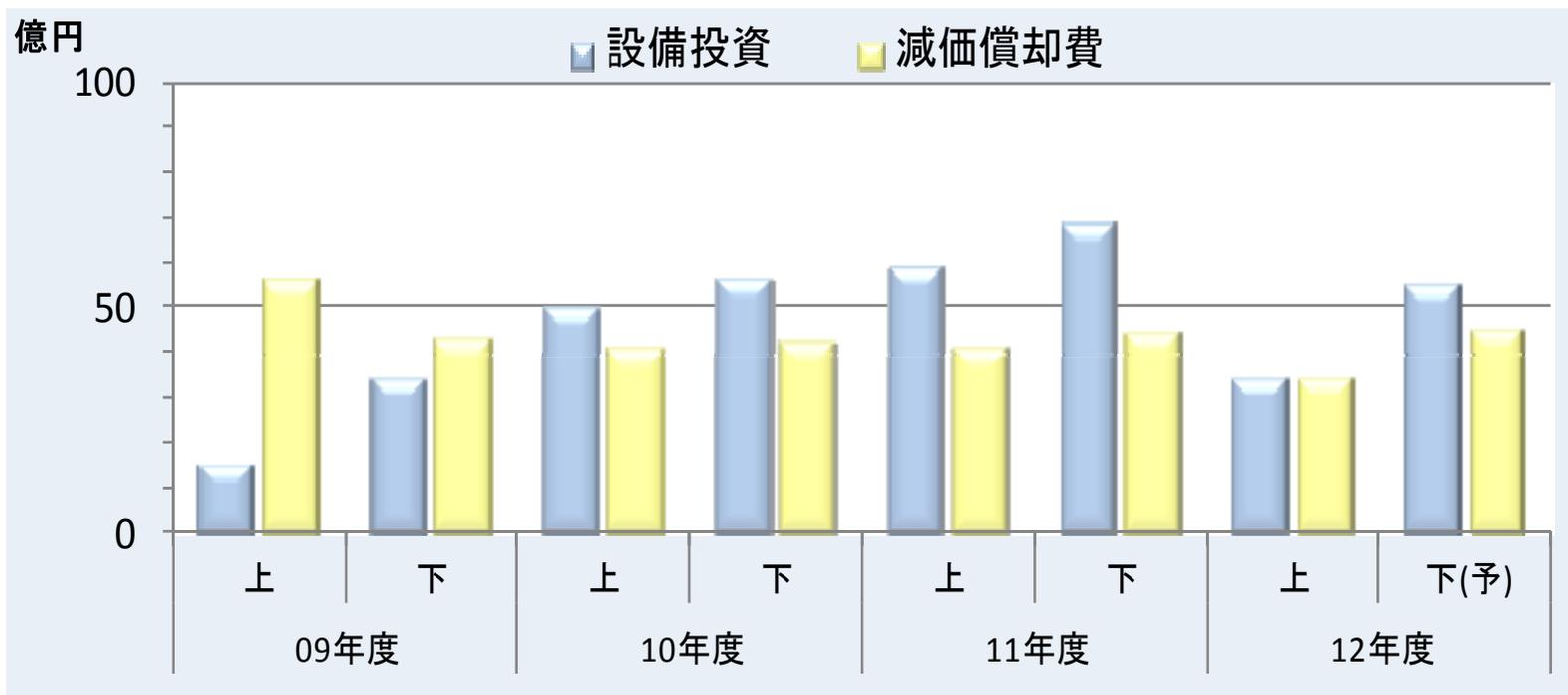
デバイス4事業へ集約: 車載、モータ、AC/DC、DC/DC

車載市場 : 主軸事業として取組みを一層強化

海外販売 : 体制構築、拡大加速

海外調達・生産 : デバイスで本格立上げ

# 設備投資・減価償却費



**12年度 設備投資 90億円 (国内40)、減価償却費 80億円 (国内45)**

**国内は減価償却の範囲内、海外は戦略的投資を実施**

国内		海外	
石川:	車載 増強	PSI :	FAB III フェーズ I
福島:	メジャー増強、F-LED増産	大連 :	デバイス後工程 増強
		アルゴロ :	タイ新工場 土地取得

## 将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。